

鹿児島市及び連携中枢都市圏3市の市民活動団体のご紹介



南九州最大の繁華街として栄える天文館。かつては、決して治安がいいといえない時代もあったが、安心安全なまちを目指し官民挙げて様々な取組みが行われ、年々環境は良くなっている。アーケードや近くの公園が親子連れや子供たちでにぎわうのも日常の光景だ。そんな天文館を長年見てきて、自身も防犯や環境美化の活動に取り組む天文館安心安全ラクガキ消し隊の江野政義（えの・まさよし）さんに話を聞いた。

早朝に行く防犯活動

春と秋の年に2回、防犯の意味を込めた活動として落書き消しを行っています。作業時間は、早朝6時30分から8時30分まで。活動には天文館の商店さんも多く参加してもらっていますが、天文館は10時オープンのお店が多いので、遅くとも9時には作業を終えて、皆さんの本業に支障がないようにしています。毎回40名～60名が参加してくれます。大学生など若いボランティアも参加してくれています。

落書きは以前から多かったシャッターやブロック塀などに加えて、最近は電源盤が多いですね。防犯カメラが映らないような路地などを巧妙に狙って落書きしています。

一見ただの落書きと思われるかもしれませんが、これを放置しておくことが環境や景観を悪化させるだけでなく、治安の悪化にもつながります。安心安全な天文館をアピールする大事な活動であると思っています。

人の繋がりが防犯になる

防犯活動自体は30年前からしています。もともとは、おつきや安全モニターとして活動していました。防犯パトロールしているうちに落書きが気になって、10年ほど前からラクガキ消し隊として活動しています。以前からおつきや交番とは連携していましたが、最近は、地藏角交番とも連携できるようになりました。落書きを消すためには、その建物の所有者と土地の所有者の両方に許可を得なければなりません。実はそれが大変なポイントです。落書きのある物件を見つけても、活動に携わっているメンバーが誰もその所有者の連絡先を知らないということもあります。作業の了承をもらうために、その所有者までたどり着くのは一苦労ですが、地元のお店さん同士の繋がりで、連絡が取れることもあるので、地域の繋がりは大事ですね。最近は交番を通して依頼されることも増えてきました。

子供たちが安全に暮らせる地域であるために

昔の天文館は治安がととても悪かったです。子供たちが気軽に散歩できないように親が止めることもたくさんありました。私は子供が小学生の時にあいご会の部長もしていたので、お父さんたちを公園に集めて、清掃活動などもしていました。

安全モニターは他の地域でも活動しています。理想は他の地域の安全モニターと連携することですね。つながりを作って、地域を超えて防犯の意識を高めて行きたい。

まだまだ落書きは絶えない

ここ最近ラクガキ消し隊の話をする、「天文館に落書きってあるかな？」という疑問の声が聞こえてきます。それくらい落書きは目立たないものになりました。ですが、探せばまだまだあります。目立つ落書きは少なくなりましたが、ここ最近自動販売機や電柱への落書きは絶えません。民間企業や行政とも信頼関係があるので、うまく連携していきたいですね。

現在は参加者の多くが高齢になってきています。大学生もボランティアとして参加してくれることはありますが、まだまだ少ないですね。参加者で一番高齢の方が80歳くらいになったので、少しずつ世代交代していきたい。理想としては、小学校や中学校とも連携して、子供たちと一緒に活動していけたらと思います。そして、長く地域に根付く活動になっていければと思っています。



天文館安心安全ラクガキ消し隊 団体概要

<活動内容>

春と秋の年に2回、早朝6時30分から8時30分に天文館地区内の落書きを消す作業をボランティアで行っている。

<今後の展望>

天文館から落書きがなくなることはもちろん、一般の市民レベルまで防犯の意識を浸透させることが理想。地域に近い小中学校との連携をしていきたい。

<課題への取り組み>

単なる作業ではなく、地域を巻き込んだ防犯活動として継続的な取り組みにしたいので、大学生のボランティアにも参加してもらっている。以前は市の補助金をもらっていたが、継続的に活動していくために天文館の商店さんから寄付金をもらっており、年々協力してくれるお店も増えている。

▷名称：天文館ラクガキ消し隊

▷代表者名：牧迫慎一

▷会員数：18名

▷連絡先：099-222-5642